

## あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5  
電話 03(3849)1188  
FAX 03(3849)7001
- 印刷 足立区大谷田就労支援センター  
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

## 全肢連結成50周年記念東京大会に参加して

竹の塚あかしあの杜 施設長 横内康行

9月3日(土)、時速10キロ程度の大型台風12号の影響で、日本全土の各地で大雨が降り続く天候の中、全肢連が結成されてから丁度50周年を迎えた記念すべき東京大会に出席しました。足元の悪い天候にも関わらず、全国からたくさんの当事者やその家族が参加されていました。

私も暫くぶりの全国大会への参加でした。奇しくも前回の全国大会の参加は北海道でしたが、その時は大きな地震に遭い、今回同様、直前での気候変動によって当初予定していた1500名の参加者より若干少なめであったと思います。

今回の大会テーマは、「この子たちが地域社会で普通に暮らすには」、サブテーマとして「障害者権利条約によって、その暮らしはどのように変わるか」で、後楽園球場の隣にある文京シビックホールの大ホールで次のような講演やシンポジウムが展開されました。

開会式典では、始めに全肢連歌「太陽と共に」の斉唱があり、久々の歌を耳にしました。その後、この一年間の物故者への黙祷が行なわれました。

開会では、大会実行委員長の歓迎の挨拶、東京都福祉保健局障害者施策推進部長、地元の文京区長より来賓の祝辞がありました。

記念講演は、DPI日本会議事務局長の尾上浩二氏より、自己紹介を含めて「障害者権利条約について」1時間15分の貴重なお話しがありました。要約すると、世界中の障がい者が参画して作った障害者権利条



約であり、2006年12月13日に国連総会にて採択されました。

「Nothing about us, without us!」、障がいのある私たち抜きに私たちのことを決めてはいけない、と言うものです。このことにより障がい者問題の考え方を根本的に変える画期的なこととなりました。

障害者権利条約の第19条には、「自立した生活(生活の自立)及び地域社会へのインクルージョン(包括:ここでは地域に溶け込むこと)」が定義されている。すなわち、障がいのある全ての人に対し、他の者と平等の選択の自由をもって地域社会で生活する平等の権利があることが認められたのです。

現在、障害者自立支援法も含めて障害者基本法が抜本的に改正され、仮称障害者総合福祉法なるものになる中で、日本も障害者権利条約が一日も早く批准されることが待たれています。

次いで、基調講演では、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会部会長の日本社会事業大学教授佐藤久夫氏より、障害者総合福祉法(仮称)の制度の改定内容や骨子について、骨格提言素案の資料を基に詳しい説明がされました。

また、後半には、4名のシンポジウム「障害者権利条約によって、その暮らしはどのように変わるか」について、東洋大学教授の石渡和実氏、記念講演をされた尾上氏、国立社会保障・人口問題研究所情報調査分析部長の勝又幸子氏、東洋大学教授の川内美彦氏による発言や考えが述べられました。最後に皆さんが共通して話されたことは、我が国で障害者権利条約が批准されたからといって、その暮らしは直ぐに変わることは難しいが、障がいのある人が、当たり前前に地域で生きることが当然であり、条約に沿ってより良いものを作っていくことが大切であると締めくくりました。

また、会場内には、3月の東日本大震災で被災した地場の特産品などの出店販売も行なわれ、賑やかで、和やかな会場運営が行なわれていました。

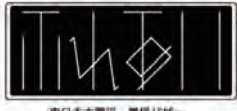
## 足立あかしあ園だより

連日の酷暑に、濡れタオルを首に巻くなどでクールダウンを図るものの、ほんのひと時の涼にすぎず、瞬時に体の暑さが戻ってしまいますね。日本のみならず各国でも異常気象が確認されており心配されます。

さて、足立あかしあ園では10月29日(土)に「ふれあい 東日本大震災義援バザー」と題して被災地の商品を購入して義援とすることや、売上金の寄付によって義援とする取り組みを行ないます。その他、足立あかしあ園の皆さんからの熱い応援メッセージを作成したり、近隣小学校の児童による「笑顔の絵」を掲示したり、近隣の方への呼びかけに力を入れたり足立あかしあ園とその近隣の多くの方々の復興への想いを形にと思っています。

当日は、毎年行なっている「ふれあいフェスティバル」とは異なる形となりますが、後日、被災地の福祉施設に寄付金とメッセージをお送りしますので、復興支援へのご協力をお願いいたしますとともに是非いらしてください。

あなたの想いも一緒に送らせていただきます！  
(堀内)



## 綾瀬あかしあ園だより

暑い夏も終わり、ようやく過ごしやすい季節になりました。

綾瀬あかしあ園では被災地支援をなるとか継続的に実施したいと考え、施設の給食に被災地の障がい者施設で作っている油ふ等の食材を定期的に利用することになりました。今後、試食等をしなが、毎月の給食メニューに取り入れていく予定です。

今年の夏は、予定していた旅行が中止になり、皆の楽しみとなる企画を実施しました。「この暑い夏を元気に！」をテーマに、綾瀬の東京マリアーージュに利用者、職員全員で行って大食事をしました。職員企画の大ビンゴ大会では、アントニオ猪木風(?)の職員の司会進行の中、なかなかビンゴがでない場合は、闘魂注入される場面もあり、大変盛り上がり、みなさんの笑顔がいつも以上にキラキラとして楽しんでいただく事ができました。景品には〇〇さんと〇〇でできる券がつき、後で個別に調理したり、ダンスしたりできるなどもう一回楽しめるオマケつきでした。今年の夏の良い思い出になりました。



8月下旬には、施設と保護者会合同の第2回「いっしょ勉強会」が行われ、今回は綾瀬訪問看護ステーションの井手所長に来て頂き、訪問看護の基本的な事を勉強させて頂きました。利用するしないは、本人とご家族の判断となりますが、「経験してみる」ことは、これから色々なサービスを受けていく中で良い機会だと思います。自分の家には合わないなと感じれば合うサービスと一緒に探していくことができそうです。勉強会が一人でも多くの方々の力になれるよう、今後も色々なサービスについて学びの場として実施していきます。



## 竹の塚あかしあのだきずな(生活介護入所)だより

残暑もようやく和らぎ、少しずつ

しのぎやすい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この時期になると寒暖差が激しい日もあると思いますので、引き続き、体調管理には十分お気をつけ下さい。

7月の話になりますが、あかしあの杜では、7月31日に『東北支援チャリティー大作戦』が行われました。

きずなでは、作業の自主生産品の販売の他に、今回は少しでも被災地の方に私達の思いが届くように、「がんばろう東北!」という垂れ幕を手形を使って作りしました。手に墨を塗り、大きな布にペタペタとつけて文字を作り上げていきます。なかには、顔拓までしてくれた方もいらっしゃいました。皆さん





良いものを作ろうと一生懸命頑張っている姿が印象的でした。

イベント当日は、B級グルメの浪江焼きそばや焼き鳥が大人気だったようで店の前に行列ができていました。利用者の皆さんからも「おいしい」との声を頂き、笑顔も多く見受けられました。

大勢の方にご

来園して頂き、無事に終わることができました。各法人職員の皆様、ご協力して頂き有難う御座いました。

きずなの他のイベントとしては、8月19日に水遊びイベント、9月6日に花火観賞会が行われました。さらに、9月から12月にかけて、楽しみにしていた方も多いかと思いますが、『大外出』を予定しています。

これから、利用者の方に1つでも良い思い出をお持ちいただけるよう頑張っていきます。

(高須)



### 竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

土用波が夏の終わりを告げましたが、まだまだ暑い日が続きます。そんな中でも、竹の塚あかしあの杜「のぞみ」では8月26日に全体レクとして、体感的に楽しんでいただく様にミニ縁日を行いました。当日は昼食のほか、フランクフルトの実演。食堂に美味しい臭いがたち込めています。

いよいよ次は午後の部です。①的当てゲーム。ストラックアウトで点数によってお菓子が貰えます。なかなか

点数が取れず本

気になりすぎて

スタートライン

から前に出る、

ちゃっかり者も

いました。パイ

プたばこ、あん

ず、きび団子等

の駄菓子が多

数揃えてあり、利用者の方々も懐かしがっていました。



ト。負けると1枚なので悲しがりテンションが下がります。5枚、10枚になると「ガハハ」と笑い声が高鳴ります。お次は③おもちゃ釣り。ガチャガチャの中におもちゃ等が入っていて、ビニールプールの中のそれを釣ります。腕に自信のある方は1回で2ヶ釣りを行っていました。特に男性利用者は大物を狙っていました、苦戦していました。

かき氷では利用者が手を叩き「さあ、さあ いらっしゃい」と大きな声で呼び込みました。唇を真っ青にして食べている利用者。皆さんの笑い声。そんな雰囲気部屋いっぱい広がった午後の活動でした。「のぞみ」では今後も流しそうめん、外出など楽しい行事がいろいろの予定です。

関係者の皆様、季節の変わりめです。後少しの夏を、お体を大切に乗り切ってください。

(森)

### 大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

8月14日、葛飾区総合スポーツセンター体育館で、第22回関東ローリングバレーボール大会が開催されました。

大谷田からは、「江戸城」「城北未来」「ず」「東京Vander.s」の3チームからの3名と、ボランティアの参加がありました。

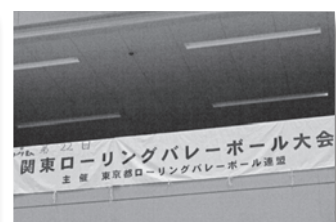
ローリングバレーボールは障害者ス

ポーツですが、障害のない人に対する別ルールがあり、誰でも一緒に競技できるノーマライゼーションを実践しているスポーツです。ルールは、ほぼ普通のバレーボールと同じですが、ローリングという言葉からも分かるように、ボールをコートの上で転がして得点を競います。

(たまに空中を飛びます)

今年は、東日本大震災の影響も大きく開催できなかった心配しましたが、何とか無事に開催されました。ただ、開催日がお盆の時期で、どれだけのチームが参加してくれるか心配しましたが、当日は天気も良く、ほぼ例年どおりの13チーム約150名が集いました。

試合は、競技を趣旨としたAリーグと、レクレーションスポーツ趣旨や初参加のチームによるCリーグに分かれて行われました。体育館内は冷房がなく暑かったのですが、試合の熱気ですぐに一段と蒸し暑くなり心配しました



が、皆さん元気にプレーしていました。閉会式が終わるやいなや、ドドツと一斉に冷房が効いているロビーに移動していました。

まだまだ、ローリングバレーボール人口は少なく、なんとか参加チームを増やして盛り上げて行きたいと思っています。これから始めたいと思われる方がおられましたら、大谷田にご一報ください。ちなみに、毎年2月に兵庫県で全国大会が開催されており、これも大きな楽しみの一つになっています。(松本(一))

### 神明福祉園だより

神明福祉園では、猛暑に負けないように、少しでも「涼」を感じられるようにと、活動の中身も工夫しています。

調理活動は、のど越しの良いものにと、ゼリーや杏仁豆腐などを作りました。

そうめんを作った班は、つけダレにも工夫し、トマトやゆで玉子を入れてスタミナアップを図りました。かき氷を作った班は、ストロ



ベリーやメロン、練乳をかけて、それぞれが思い思いの味付けにしました。早く食べたくて、かき氷機を回す手にも力が入っていました。

た。

そんな暑さの中、外出を楽しんだ班もあり、越谷レイクタウンへ行きました。クーラーの効いた建物内を散策。何度行っても広さを感じ、短い時間の中で、フードコートで好きなものを食べたり、買い物を楽しんだりしました。

まだまだ暑い日は続きますが、体調管理には充分に気をつけて過ごしていきたいと思っています。(山井)

### 神明デイサービスセンターだより

だより

この夏は猛暑の中に冷夏もあり、温度差が激しい時期もありましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、神明デイサービスセンターで



は、7月14日(木)に昨年大好評だった亀有アリオへの外出第1弾に行ってきたました。

午前中の講習会を30分早く切り上げて

の出發。到着後は利用者さんそれぞれのお店でお昼ご飯を注文、ボランティアさんと一緒に楽しい一時を過ごされた様子でした。食後もそれぞれお買い物をする方、おしゃべりに夢中の方、ウインドーショッピングされる方と、自分らしい楽しみ方をされていらつしやいました。

利用者さんからは「普段、話をする機会の少ない方とお話が出来る等、大好評！楽しく・安全に外出を終える事が出来ました。御協力を頂いた、先生、ボランティアの皆さん、バス会社の皆さん、本当にありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

皆さん、本当にありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。



神明デイサービスセンターでは、各曜日で利用者さんが異なる為、各曜日外出を行います。今年度も残り4回、楽しく・安全を心掛けて行ってきました。

こちらも恒例となりました「綾瀬メトロギャラリー」での絵手紙・陶芸作品展示会「9月16日(金)〜30日(金)」の期間開催致します。

皆さん先生から指導を受けながら、作品の制作に勤しんでいらつしやいます。この記事の掲載時、展示会が終わっていないければ是非、作品を覗いてみて下さい。(都築)

### 神明福祉作業所だより

23年度も半ばに近付いて参りました。

作業所のグループの近況を紹介させていただきます。

「あおぞら」グループでは、様々な作業を皆さんで協力しながら行っています。箱折り、色紙の封入作業、部品の組み立





て、官公需作業など日々納期に向けて一つ一つ丁寧に仕上げています。また、保木間にある業者から毎日、箱折り・コーヒーの箱詰め・ティーパークの袋詰めなど、多種類の作業を請け負っています。更に、出来上がった商品の納品に交替で同行することで、どのような会社から仕事をいただいているのか、出来上がった品がどうなっていくのかなど、施設の中だけでは知り得ない事を知り、皆さんの作業へのモチベーションにも繋がっているようです。

「かりん」グループでは、第2回目の企画行事として、『夏祭りだよ、かりん全員集合!』を行いました。的当



てゲーム・ヨーヨー釣り・盆踊りをして、最後にスイカ割りを経験するなど皆さん、大盛り上がりでした。割ったスイカも美味しく頂き、楽しい夏の思い出として皆さんの胸に刻まれたと思います。早くも、第3回目の企画行事を心待ちにしているという声も聴こえてきているようです。

引き続き、仕事や行事を楽しみながら頑張っていきたいと思っています。

(神田)

### グループホームオハナだより

今年の夏は蒸し暑さに加え湿気が多く、例年になく体調管理が難しい時期でした。

みんなも大きな崩れはないものの、疲れた表情をしていることもあり、早めの休息をとったりと無理はせずゆっくりと過ごしています。

8月に入り、オハナは8年目を迎えました。振り返ると色々な出来事がありました。振り返ると色々な出来事がありました。振り返ると色々な出来事がありました。



過ごしていきたいと思っています。

ただ私たちの仲間が、8年目を節目に卒業しました。毎日当たり前だった7人が揃う食卓、オハナの食卓はいつも笑いが絶えず話が尽きません。その輪の中心にいた友達が…。寂しい気持ちではありますが彼の新たなステップをみんなで応援していこうと思います。これから家庭に帰っても、彼らしく色々なことに前向きに取り組んでいくことでしよう。

彼の旅立ちをみんなで祝いしました。そこには涙はなく、新しい人生を笑顔でひとりひとりが送り出しました。

これからは6人の仲間と充実ある暮らしを送っていきたいと思っています。ふとした時にオハナに遊びに来てくれることでしよう!

9月に入り、少しずつですが涼しくなってきました。8月は暑い日が続き外に出る機会が減ってしまったので散歩、外食などみんなで楽しいことをしていきたいと思います。

夏の疲れも出てくる頃です。毎日の体調には充分気をつけていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願いします。

(永山)

### あいのわ支援センターだより

今年の夏は暑くなったり急に涼しく

なったりと、体がついていけなくなりそうな陽気ですね。そんな中でも、ご利用者様・職員とも変わらず元気に過ごしています。

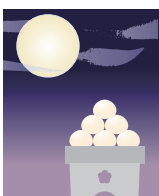
谷中ハウスが始まって初めての夏、休日に近くで行われた地域の納涼大会へ参加しました。盆踊りの輪に加わり一緒に踊ったり、屋台で美味しいかき氷やたこ焼き等を買って食べたりと、夏の思い出作りができました。

また、8月は夏休みという事もあり、沢山の方にショートステイをご利用いただきました。谷中のショートステイを初めて利用いただく方も多く、谷中ハウスのご利用者様にとっても、新たな出会いや学校時代に知り合った方と久しぶりに会えて、嬉しそうに話をされる場面も多くなりました。本当にありがとうございます。

9月、10月ともショートステイのベッドにはまだまだ空きがございます。

ご予約のお電話はもちろん、利用したいけれどどんな手続きをするのかわからない、一度実際に見てから利用を考えたい、など、お気軽にあいのわ支援センターまでご連絡下さい。一人でも多くの方のご利用を、心よりお待ちしております。

(阿部)



## 投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

通学の 小径を飾る 赤のまま 秋山 啓司  
 草の実の 選ぶ三つ四つ 畳まで 細川 悦子

## この一句

明日刈る 稲一粒を 噛んでみる 小泉 容子  
 温暖化のせい、今では、田植は一ヶ月前後早くなっている。その分稲刈りも早い。もう稲穂が垂れ下がっているのに、実入りに不安はないが、つい一粒を取り噛んでみる。確かな歯応えにひとり頷く。広々として爽やかな田園風景が目につく。 （秋山）

## 後援会だより

（平成23年7月～8月） 敬称略、順不同

## ◇特別会員（1口1万円）

中里俊夫、中村稔、武内啓友、田上弘治、野口節、大谷勝  
 重田久美子

## ◇団体会員（1口5千円）

栗島幼稚園 鴨下光江（2口）、綾瀬マンション自治会（2口）  
 トーブラ販売株式会社（2口）、青井三丁目中央自治会（2口）  
 東京綾瀬ライオンズクラブ（2口）、足立加平郵便局長 清水義孝  
 青井四丁目第四自治会

## ◇一般会員（1口3千円～5千円）

西野幸男、岩澤明美、有馬妙子、平田敏光、三田昭夫、丸洋子

## 竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成23年7月～8月）

## 短期入所事業利用状況

延べ利用人数	83名	内児童	11名
延べ利用日数	203泊	内児童	27泊

田中誠、小林則子、吉沢国夫、岸本知鶴子、橋本隆、山本孝子  
 小笠原昌俊、青木昭治、須賀賢一、鴨下令子、小谷節子  
 ◇寄付者  
 西村文雄、磯部幸子

## 編集後記

猛暑そして節電の夏は、行きつ戻りつしながらも初秋の風を感じる頃となりました。

さて、8月30日、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会より、障害者総合福祉法（仮称）骨格提言素案がまとまり発表されました。福祉法が目指す6のポイントとは、①障害のない市民との平等と公平 ②谷間や空白の解消 ③格差の是正 ④放置できない社会問題の解決 ⑤本人のニーズにあった支援サービス ⑥安定した予算の確保。

⑤については、ショートステイの利用（医療的ケアの必要とする人も安心して利用出来るよう条件整備をする）、グループホームとケアホームを一本化しグループホームとし、4～5人上限規模とする。また、居宅介護等（ヘルパー派遣）の、個別生活支援を利用出来るようにする等があげられ、そして地域生活に必要な医療的ケア（吸引等の他に、カニューレ交換・導尿・摘便・呼吸器操作などを含む）を、本人や家族が行うのと同等の生活支援行為として、学校、移動中など、地域生活のあらゆる場面で確保される、としています。しかし、これらの提案が実現されるには、⑥の予算が確保されないことには……ですが、障害者総合福祉法への移行に向けて、24年4月から可能な施策は実施する、としていますので期待したいところです。

現在、法人の中・長期計画が検討されています。利用者の皆さんが、安心・安定した地域生活がおくれるように、総合福祉法の成立とともに見守りたいと思います。

## ■「第40回タートルマラソン国際大会

兼第14回バリアフリータートルマラソン大会」迫る！

父母の会が出店するとともに、職員・利用者の勇志が激走します。応援をお待ちしています。【10月16日、荒川河川敷】

## ●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで